

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社グローバルキッズ
グローバルキッズ藤が丘園

平成29年 9月 5日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

目次

評価結果総括

- 評価方法 1
- 総合評価 2
- 評価領域ごとの特記事項 5
 - 人権の尊重
 - 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供サービス
 - サービスマネジメントシステムの確立
 - 地域との交流、連携
 - 運営上の透明性の確保と継続性
 - 職員の資質向上

分類別評価結果

- 利用者本人（子ども本人）の尊重 8.
- サービスの実施内容 11
- 地域支援機能 15
- 開かれた運営 16
- 人材育成、援助技術の向上 17
- 経営管理 18

利用者本人調査

- 利用者本人調査結果 19

家族アンケート結果

- アンケートの概要 24
- アンケート結果 25

事業者コメント

- 事業者からのコメント 30

評価結果総括

法人名 株式会社グローバルキッズ
事業所名 グローバルキッズ藤が丘園
施設長名 時田 礼美

□ 評価方法

自己評価方法

実施期間 平成 29 年 6 月 5 日～平成 29 年 6 月 23 日
実施方法 全職員が合議して自己評価を実施し、施設としてまとめた。

評価調査員による評価方法

実施日 平成 29 年 8 月 2 日、平成 29 年 8 月 4 日
実施方法 評価調査員が訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で実施した。

利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成 29 年 6 月 8 日～平成 29 年 7 月 1 日
実施方法 施設から利用者家族へ配布し、返送は直接家族より評価機関に郵送してもらった。

利用者本人調査方法

実施日 平成 29 年 8 月 2 日、平成 29 年 8 月 4 日
実施方法 訪問調査時に保育見学、食事や活動場면을観察して行った。

□ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

〔施設の概要〕

グローバルキッズ藤が丘園は平成 24 年 4 月に開設しています。設置法人は株式会社グローバルキッズで東京都と神奈川県横浜市を中心に保育園のほか、保育関係事業を運営しています。

園は 0 歳児から就学前児童を対象とし、定員は 60 名で現在 51 名が在籍しています。

園へのアクセスは東急田園都市線藤が丘駅から徒歩数分と利便性が良く、複合ビルの 1 階にあります。園内は、ホールを中心としてオープンフロア型の保育室をコの字に配置しています。子どもたちは、自分のクラスだけでなく、ほかのクラスの様子も感じながら日々過ごしています。園周辺には大小さまざまな公園があり、積極的に散歩に出かけています。

法人の企業理念に「子ども達の未来のために」を掲げ、「豊かに『生きる力』をそだてる」を保育理念としています。保育目標、保育方針のもとに、事業計画では 4 項目の運営方針を明確にして保育を行っています。

《優れている点》

1. 遊びなどを工夫して、子どもの主体性を伸ばす保育を実践しています

職員は、子どもの思いや願いを受け止め、子どもの未来のために、子ども主体の活動ができるように保育を行っています。

「おまつりごっこ」は、計画や準備も子どもたちが中心になって行いました。屋台で売る紙製の焼きそばやたこ焼きをパックに詰め、廃材で自動販売機やおみこしを制作しました。行事が終わった後も、楽しかった体験が子どもたちの会話に登場しており、行事で作った作品は日常の遊びの中でも活用して、子どもの思いを大切に保育に活かしています。

保育士は子どもたちの活動を見守り、必要に応じた関わりをしています。各クラスには、年齢や発達にふさわしいおもちゃや教材が揃っていて、子どもが自由に取り出して遊べるように配置されています。子どもたちは、おままごと、パズル、ブロック、絵本、クレヨン、廃材など、必要なものを自分で取り出して遊びに集中していました。幼児クラスでは、毎日廃材で制作をしている子どもいます。好きなことをして遊び込める時間を十分確保し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切に保育を実践しています。

2. 職員は協力・連携を図りながら「チーム保育」を実践しています

子どもを中心とした保育について、園長のリーダーシップの下に実践しています。職員会議のほか、昼礼、クラス会議（複数担任）、乳児会議、幼児会議などで意見を述べ、アドバイスし合うオープンな雰囲気は園全体に行き渡っています。園長は「子どもが中心の保育とは」を職員に常に問いかけ確認しながら保育を行っています。

職員は、行事の取り組み方、子どもへの言葉かけ、アプローチの仕方など常に考え、確認して進めています。話し合うことにより職員間のコミュニケーションが良好なものになり、保育観の統一にも繋がっています。担任、フリー職員（非常勤職員含む）、リーダー職員、看護師、栄養士（調理担当職員含む）の全職員が日々連携を図りながら「チーム保育」を行っています。

3. 子どもの園生活に関する情報を、保護者に分かりやすく丁寧に発信しています

毎日の個別の連絡ノートのやりとりがない幼児クラスには、各クラスのドアに、保育士が手書きの報告を掲示しています。散歩や遊びの様子、ちょっとした出来事などお迎え時の慌ただしい時間であっても、読みやすいようにポイントを押さえて分かりやすく記載しています。

各クラスだよりは、活動報告のほか、子どもたちに人気の絵本や遊び等の情報、子どものすごいところ、おもしろいところなど、職員の発見や子どもたちに向けるまなざし、生き生きと過ごしている子どもたちの園生活が伝わる内容になっています。

いろいろな方法で積極的な情報発信を行うことで、子どもが園生活を楽しんでいる様子への保護者評価も高くなっています。保護者が園の取り組みを理解し、子どもの成長を感じられるように情報提供を行っています。

《努力・工夫している点》

1. 個人別に職員のスキルアップに力を入れています

園では経験の浅い職員からベテラン職員まで、年代もバランスよく配置されています。設置法人の保育キャリアパスに基づき、職員のキャリアごとの研修スケジュール（内部研修）があり、職員は学び、外部研修の機会も活かしています。

指導計画や日々の記録からの評価、反省に加え、自己評価シート（設置法人作成シート）の仕組みがあります。保育目標について、保育について・行事についてなど職員個別の評価・ふりかえり、課題の把握を3ヶ月ごとに丁寧に行っており、職員のスキルアップのためのツールとしても活用しています。

《課題や改善することが期待される事項》

1. 園の重要な意思決定がある際の、説明の仕組み作りが期待されます

今年度当初、園行事の一部変更についての説明に伴い、保護者との間に行事についての考え方や捉え方に違いが生じています。それに伴い臨時の懇談会の開催、議事録（経緯の説明）の全保護者配付などにより理解を求めました。

家族アンケートの「年間の保育や行事についての説明」「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについて」の項目では満足度の低さが窺える結果でした。

今後は園側の重要な意思決定がある際には、保護者の理解、協力を得られるような説明方法の工夫を行い、丁寧に説明し理解を求めることが期待されます。

2. 地域に開かれた園運営のために、情報発信の取り組みが期待されます

地域に向けた園の情報提供や周知方法は主に法人作成のホームページとなっています。ホームページでは園のサービス内容や活動状況を理解・周知できるようにしています。しかしホームページを利用する人が限られていたり、地域特有の情報が不足することもあります。

今後は、地域が園を理解・周知し、さらには地域に支援・貢献する役割も園には期待されています。ホームページ以外のツールを検討して、地域に情報提供することが期待されます。

3. 快適な施設環境の確保にむけて、具体的な工夫・検討が期待されます

園は複合ビルの中に設置されています。防犯上の理由で窓の開閉などに制限を設けざるを得ない箇所もあります。通風や換気に関しては、気になる臭いがこもりやすい現状もあります。

快適な施設環境の確保のために、消臭剤、換気機器の検討と共に、換気時間を設定するなどの配慮などの具体的な検討が期待されます。

□ 評価領域ごとの特記事項

1. 人権の尊重

- ① 設置法人としての企業理念「子ども達の未来のために」、保育理念「豊かに生きる力を育てる」を掲げています。保育方針は、「子どもが毎日楽しいと思える保育園作りを目指し、安心安全を常に意識し、保育の専門性を生かし、地域の子育て支援に貢献する」としており、利用者本人を尊重したものになっています。
- ② 職員は、子どもの気持ちを受け止められるよう配慮し、威圧的な言い回しにならないように気をつけています。子どもの人格を尊重する姿勢について職員会議で話し合っており、園長が気になった言葉かけについては、その場で確認しています。
- ③ 個人情報に関する記録は事務室の施錠できるキャビネットに保管し、園長が管理しています。ホームページや園だよりへの写真掲載については、入園時に保護者に説明したうえで承諾書を得ています。

2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 保育理念、基本方針、目標に基づいた保育を実践するために、それらを保育課程に明記しています。保育課程に基づいた年間指導計画から月間指導計画、週案を作成しています。職員は、昼礼、職員会議、クラス会議（複数担任）乳児・幼児会議などで話し合いや、振り返りの時間を設け、子どもの様子を共有し、保育に活かしています。
- ② 0～2歳児クラスは個別の指導計画を作成し、一人一人の発達に合わせ、丁寧に関わっていきこうとしています。昼礼、諸会議で常時情報を共有し、意見交換を行い柔軟に変更・見直しを行っています。保護者には、園での工夫点を交えながら子どもの状況に合わせて説明し、同意を得ています。保護者の意向を汲み、毎月面談をして成長を見守っている場合もあります。
- ③ 保育内容の遊びでは、子どもの年齢、発達に応じたおもちゃ、教材、絵本を用意しています。廃材を利用して、子どもや職員が手作りしたおもちゃも活用し、感性を豊かにする保育を大切にしています。近隣の様々な公園に目的に応じて散歩に出かけ、自然を楽しんでいます。外部講師によるアート教室を月1回行っているほか、今年度から幼児体操教室が始まります。

3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 入園時に把握した生育や生活記録、入園後の成長発達記録などのほか、0歳児クラスは毎日、1、2歳児クラスは2ヶ月、幼児は期ごとと年齢に応じた記録期間を定めて個人記録を作成しています。個別の児童票はクラスごとにファイルし、事務室で保管管理をしています。必要時には全職員が閲覧可能なほか、昼礼、諸会議などで常に情報共有をしており、進級時もスムーズに伝達をしています。
- ② 職員は、発達支援、虐待、アレルギー、外国籍など配慮が必要な子どもの様子については昼礼、諸会議などで報告、話し合い、記録を残しています。配慮が必要な子どもの保育について研修など職員間で学んでおり、すべての職員が同じ認識を持って保育にあたる体制があります。

- ③ 意見箱の設置、懇談会、個人面談など保護者から意見や要望を聞く機会があります。送迎時にも積極的に話しかけ意向を汲み取るようにしています。保護者からの苦情、要望は、ご意見・ご要望対応是正処置ファイルに、平成24年度からまとめてファイルをしてあり、データを蓄積・整理し、解決に活かすようにしています。

4. 地域との交流・連携

- ① 一時保育は登録制で幼児を中心に受け入れています。その他、園庭開放、交流保育を行い、園の専門性を活かしたサービスの提供に努めています。
- ② 子どもたちは、毎日の散歩の際に地域の人たちとあいさつを交わし、バスや電車に乗って地域の消防署やプラネタリウムに出かけ、日常的に地域との交流を体験しています。自治会のお祭りに参加したり、近隣の保育園と合同で公園で運動会ごっこをしています。近所の高齢者施設に年2回訪問して、園児と高齢者の交流会を行っています。
- ③ 設置法人のホームページで、園の保育サービスの情報提供を行っています。その他、青葉区地域子育て支援拠点ラフールのホームページで、園庭開放や一時保育の状況、行事のお知らせをしており、電話などの照会には丁寧に対応しています。

5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ① 事業所運営に影響のある情報の収集分析は設置法人で行っています。園長は、設置法人の施設長会議やブロック会議のほか、区の園長会や幼保小連絡会などの会合に出席し、情報収集をしています。園に関わる事項は、職員会議で周知しています。
- ② 職員の自己評価後に保育目標について、保育について、行事についてなど評価できる点や課題等の把握に努めています。園としての自己評価は毎年行い、結果は玄関掲示で公表しています。
- ③ 職員が守るべき法・規範・服務規程などはコンプライアンスハンドブックに明記されており、入職時に説明をし、ハンドブックを配付しています。今年度、全職員を対象にコンプライアンス研修を実施しています。他施設での不適切な事例や、新聞やニュース報道などを職員会議、昼礼で取りあげ、話し合っています。

6. 職員の資質向上の促進

- ① 設置法人の保育キャリアパス様式に職員の経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明記されています。設置法人の保育キャリアパスに基づき人材の育成に取り組んでいます。園長との年に2回の面談で職員個々の目標や人事考課表を用いての話し合いや評価を行い、達成度を確認し、次年度につなげています。
- ② 職員それぞれのキャリアごとの研修スケジュール（内部研修）があります。外部の研修案内を知らせ、本人の希望も取り入れ参加をしています。研修受講後は、研修レポート提出のほか、今年度から職員会議で内容を発表していこうとしています。また障害に関する研修受講後は、障害のある子どもとの関わり方など園の保育活動に取り入れるようにしています。

- ③ 可能な限り現場にいる職員が主体的、自発的に判断して保育にあたるよう権限を委譲し、園長に報告することで最終的な責任を明確にしています。また、クラスリーダー、乳児リーダー、幼児リーダーを置くことでも責任を持って仕事に取り組めるようにしています。また、園長は、日々の業務を通じて、職員一人一人と言葉を交わし、コミュニケーションを深めるように努めています。

分類別評価結果（および理由）

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしています。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがあります
 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

I 利用者本人の尊重

I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① 設置法人としての企業理念「子ども達の未来のために」、保育理念「豊かに生きる力を育てる」を掲げています。保育方針は、「子どもが毎日楽しいと思える保育園作りを目指し、安心安全を常に意識し、保育の専門性を生かし、地域の子育て支援に貢献する」としており、利用者本人を尊重したものになっています。職員には入職時に法人の信条（クレド）カードや理念・方針を明記した保育基本マニュアルを配付しています。玄関や職員休憩室内に掲示し、いつでも確認ができるようにしているほか、園長は職員会議などで折にふれ方針に基づいた保育の実践について話しています。
- ② 保育課程は法人主体で作成しています。園の子どもの年齢ごとの発達に一貫性があるか、保護者の状況、周囲の環境に即しているかなど、来年度、全職員で保育過程の見直しをすることとしています。取り組みが期待されます。
- ③ 年間指導計画を基に、月間指導計画、週日案を作成しています。職員は、子どもの生き生きとした姿を引き出すことが大事と考え、子どもの思いを汲み取ったり、自分で意見を言ったり、考えることを見守る姿勢を常に持つよう努めています。子どもの意見や興味を取り入れ、計画はあくまでも計画として柔軟性を持たせています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 入園前の2月下旬から3月を目安に、園長と常勤職員が中心に保護者面接を行っています。入園前面接シートで子どもの状況、アレルギーなど配慮事項や面接者が気づいたことなどを記録しています。入園式のあとに担任と保護者が個別に話をする時間も設けています。入園までに提出をお願いした児童票や入園までの生活状況なども考慮し、入園後速やかに対応ができるようにしています。
- ② ならし保育については、入園前に口頭で説明し、保護者の希望や事情を考慮しながら実施しています。0～2歳児クラスは複写式の個別の連絡ノートがあり、園での生活、活動状況などが家庭に引き継がれるようにしています。また、0、1歳児の新入園児に対し、特定の大人とのアタッチメントを通して信頼関係を築いていくことの大切さを考え、子どもが園生活に慣れるまでの期間は、主担当保育者を決めて保育にあたることを期待されます。在園児への進級時対応については、フリーの職員が必要に応じてフォローに入っています。
- ③ 年間指導計画を基に、クラスごとに月間指導計画、週案を作成しています。クラス会議（複数担任）、乳児・幼児会議で意見や助言を出し合っています。保護者とは、意見箱、送迎時の会話、懇談会、アンケートなどから意向や意見を把握し、計画に取り入れるよう努めています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ① 清掃チェック表があり、保育室は担任職員、共用部分は主に非常勤職員が毎日清掃をしており、園内外は清潔に保たれています。保育室の温湿度は午睡チェック表に記録をしています。その他、エアコンや加湿器を使用し、室内環境に配慮をしていますが、通風や換気に関し、防犯上の理由で主に乳児保育室の窓の開閉に制限を設けざるを得ない状況があるほか、設備上、臭いがかもりやすい現状があります。具体的な改善策の検討が期待されます。
- ② 0歳児クラスには昼のスペースがあり、遊びと食事の場を分けています。遊びに応じて手作りの低い柵で仕切る時もあります。その他のクラスは遊び、食事、午睡は同じ空間ですが、食事のあとに手早く掃除をして午睡の場を作っています。行事や毎月の誕生会には園の中央にあるホールで全園児が関わっています。ホールを取り囲む各クラスの保育空間(コの字型のオープンフロア)の造りであるため、子どもたちはクラス以外のお互いの様子を日々感じながら過ごしています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ① 0～2歳児クラスは個別の指導計画の作成をしています。子どもの姿、月の目標、保育者の援助点・配慮・準備、反省・評価前月の子どもの様子と反省・評価項目を設け、一人一人の発達に合わせ、丁寧に関わっていきこうとしています。配慮が必要な子ども(障害名がある場合を除く)は、日誌の個別の記録欄を活用しています。昼礼、乳児・幼児会議、職員会議などで常時情報を共有し、意見交換を行い柔軟に変更・見直しを行っています。保護者には、離乳食の進め方、トイレトレーニング、個別の課題がある場合など、園での工夫点を交えながら子どもの状況に合わせて説明し、同意を得ています。保護者の意向を汲み、毎月面談をして成長を見守っている場合もあります。
- ② 5歳児が就学する小学校に保育所児童保育要録を郵送、あるいは持参をしています。その後、必要に応じて電話連絡をしています。
- ③ 0歳児クラスは毎日、1、2歳児クラスは2ヶ月、幼児は期ごとと年齢に応じた記録期間を定めて個人記録を作成しています。個別の児童票はクラスごとにファイルし、事務室で保管管理をしています。必要時には全職員が閲覧可能なほか、昼礼、諸会議などで常に情報共有をしており、進級時もスムーズに伝達をしています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ① 職員は、特に配慮が必要な子どもおよび、障害のある子どもの特性や障がい児保育について研修(地域療育センターあおば見学研修含む)で学んでいるほか、昼礼や諸会議で各クラスの様子を把握しており、すべての職員が同じ認識を持って保育にあたる体制があります。個別の指導計画に基づいた保育のほか、年2回、地域療育センターあおば職員の訪問があり、助言や情報を保育に活かしています。
- ② 虐待に関しては、疑わしい事柄に気づいた際は、青葉区のこども家庭支援課をはじめ、関係機関に相談・連携を図る体制を整えています。
- ③ 食物アレルギーのある子どもには、設置法人作成のアレルギー対応マニュアルに則った適切な対応に努めています。保護者に医師からの生活管理指導表を提出してもらい除去食を提供しています。提供する際は、トレイ、食器の色を変え、食札をつけ一番先に提供しています。机を別にし、傍らでの見守りは常勤職員としています。

- ④ 宗教上の理由による給食の豚肉の除去提供など、保護者とは入園前の説明を丁寧に行い、状況を確認しています。子ども同士は自然な関係を築いています。保護者とは必要に応じて法人本部に作成を依頼し、英文の手紙を配付したり、ジェスチャーを交えながらその都度説明をしています。

I-6 苦情解決体制



- ① 苦情受付担当者は園長、解決担当者は設置法人保育事業部であり、重要事項説明書に明記し、玄関に掲示しています。第三者委員2名の氏名・連絡先についても同様にしています。玄関に意見箱を置いています。保護者懇談会、個人面談での話し合い、アンケートのほか、職員は送迎時に保護者に積極的に声をかけ、要望を聞くように心がけています。外部の相談・苦情窓口として、青葉区福祉保健センターこども家庭支援課の連絡先を重要事項説明書に明記しています。
- ② 第三者委員を交えた年に2回の運営委員会のほか、園単独での対応が難しい場合は、第三者委員や青葉区こども家庭支援課と連携を図っていく体制を整えています。
- ③ 保護者からの苦情、要望は、ご意見・ご要望対応是正処置ファイルに、平成24年度からまとめてファイルをしてあり、データを蓄積・整理し、解決に活かしています。

Ⅱ サービスの実施内容

Ⅱ-1 保育内容【遊び】



- ① 各クラスには年齢や発達にふさわしいおもちゃや教材が揃っていて、子どもが自由に取り出せるように配置されています。廃材を利用して、子どもや保育士が手作りしたおもちゃも活用し、感性を豊かにする保育を大切にしています。自由遊びの時間には、ごっこ遊び、絵本、ブロック遊びなど、それぞれが好きな遊びに集中できる環境が整えられています。0歳児の保育室には畳のスペースがあり、落ち着いた雰囲気の中で過ごすことができます。おもちゃは毎日消毒し、破損がないか点検をしています。
- ② 天気の良い日は散歩をして公園で遊びます。近隣には自然豊かな公園がたくさんあり、子どもたちは、遊具、植物や虫の観察、広場でのかけっこや鬼ごっこ、砂遊び、木登りなどを生き生きと楽しんでいます。公園では地域の人たちや近隣の保育園児と挨拶を交わして交流しています。保育士は一人一人の様子を確認して、安全に園外活動ができるように、役割を決めて連携しています。乳児は4人用と6人用のバギーに乗って出かけています。
- ③ 玄関脇の園庭では、ミニひまわり、トマト、ナスなどの花や野菜をプランターで栽培しています。子どもたちは水やりをして成長を観察しています。また園から徒歩15分程度の場所に畑を借りて、じゃがいも・玉ねぎ・いちご等の収穫の体験をしています。今年は保護者の協力で、田んぼに行ってお米の収穫を経験しました。子どもたちは田んぼでカエルやオタマジャクシを捕まえた体験を楽しそうに話し、秋の収穫を楽しみにしています。
- ④ 室内用の体育遊具を使った遊びはホールで行います。跳び箱・平均台・鉄棒・マット・トンネルなど、年齢に合わせた運動をしています。ホールでは異年齢交流も行われ、楽器遊びでは子ども同士で教えあう姿が見られます。幼児交通安全教室では、乳児もホールの後ろで交通安全のキャラクター人形を見ていました。外部講師によるアート教室を月1回行っており、今年度から幼児体操教室が始まります。
- ⑤ 「お祭りごっこ」では、子どもたちが主体になって、廃材などで本物そっくりな焼きそば・たこ焼き・チケットを作って屋台の遊びをしました。制作したおみこしや自動販売機は、行事が終わった後も保育室や玄関に置かれ活用しています。幼児の「おたのしみ保育」では、食材の準備で子どもたちが交代でスーパーに買い物に行き、当日は調理の一部を体験します。

Ⅱ-1 保育内容【生活】



- ① 設置法人が作成した献立をもとに、園の栄養士が食材の発注を行い、調理師と共に調理しています。季節感のある献立や盛付に配慮し、おやつも混ぜご飯のおにぎりやピザなど手作りのものを提供しています。栄養士や調理担当者は各クラスを回って喫食状況を把握し残食量を記録しています。保育士との意見交換を毎日行い、調理を工夫しています。
- ② 子どもの成長にあった食器を使用し、幼児には、スプーン・フォーク・おはしが用意されています。幼児クラスでは当番の子がメニューを発表して、全員で配膳を確認して『いただきます』をします。保育士は食べようとする意欲を大切に、雰囲気作りに配慮しています。ホールで全員一緒におやつを食べることもあります。

- ③ 保護者に給食だよりを毎月月初に、献立表を前月月末に配付し、毎日の献立は玄関に展示をしています。0歳児は献立表を配付した後、保護者に未食チェックをしてもらっています。保育参観の期間には、希望者に給食を試食できる機会を作っています。保護者が給食に関心を持ち、栄養や味付けなど配慮している点を理解してもらうために、定期的にレシピをお知らせするなどの情報発信が期待されます。
- ④ 午睡は、部屋を少し暗くして静かな環境の中で、子どもたちが心地よい眠りにつけるように配慮しています。SIDS（乳幼児突然死症候群）の対策として、呼吸チェックを行っています。0歳児は5分ごと、1、2歳児は10分ごと、3歳児以上は15分ごとに呼吸チェックを行い午睡チェック表に記録します。5歳児は11月頃から午睡の時間をなくし子どものペースに合った活動をする予定です。
- ⑤ トイレトレーニングは一人一人の発達状況に応じて個別に対応しています。排泄の状況は、送迎時や連絡帳で保護者と情報交換をして連携しています。職員会議で子どもの状況を話し合い情報共有しています。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 健康管理に関するマニュアルに沿って一人一人の健康状態を把握し、個別健康記録・健康観察記録をつけています。登園時には検温をして子どもの様子を観察し、保護者から健康状態を聞き取っています。保育中は看護師や園長が各クラスを回って、子どもたちの健康状態を確認しています。必要に応じて園での子どもの様子を保護者に伝え、対応について話し合っています。
- ② 0歳児クラスに配属されている看護師は、嘱託医と連携して全園児の健康管理を行っています。健康診断は0歳児は月1回、1～5歳児は年2回行っており診断結果は個別に通知しています。身体測定は毎月実施して連絡帳に記入しています。
- ③ 歯科健診は年1回行い、結果を保護者に通知しています。2歳児の年度中頃から歯磨きを開始し、年齢に合わせて保育士が仕上げをしています。幼児クラスは、看護師が手作りの歯の模型で歯磨き指導を行っています。
- ④ 感染症が発生した場合は全クラスの入り口に情報を掲示し保護者に連絡しています。保育中に体調をくずした子どもは、事務室で職員が付き添って安静を保ち、必要に応じて保護者に連絡しています。看護師は、嘱託医から感染症についての情報を把握し、職員間で情報を共有しています。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 衛生管理マニュアルの内容を全職員が共有し毎日の清掃が行われています。保育室の清掃は担任が行い、玄関やホール等は主に非常勤職員が担当します。トイレには清掃の手順とチェック表が貼ってあり、その他の場所のチェック表は職員休憩室に掲示してあります。清掃の最終チェックは看護師が行っています。
- ② おもちゃは毎日消毒し、布製のものは洗濯しています。古くなって清潔感が無くなったおもちゃは早めに入れ替えるようにしています。看護師は法人の看護師会に毎月出席して、会議で得た情報は、園の内部研修で職員と共有し、衛生管理に役立てています。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 毎月、火災や地震を想定した避難訓練を行っています。公園に避難する訓練や、同じビル内の銀行と合同の消火訓練をしています。消火訓練では、消防士から説明を聞き、消火している姿を見ることができました。避難場所の公園で、保護者への引き渡し訓練を年1回実施しています。保育室の棚や事務室のキャビネットは固定し、高い所には物を置かないようにしています。
- ② 事故や災害時に適切な対応ができるように、安全管理に関するマニュアルを職員に周知しています。緊急時の連絡体制一覧は各クラスに配置され、緊急連絡カードで保護者以外の連絡先やかかりつけ医が分かるようになっています。
- ③ 災害時に保護者と連絡を取る手段として、一斉メール配信システム・災害時伝言ダイヤルを利用することになっています。一斉メール配信のために、保護者は毎年連絡先の登録を行っています。
- ④ 子どものけがは、軽傷であっても保護者に状況を報告し、「事故記録簿」に記載します。小さな出来事は「ヒヤリハット記録」に記載して、原因究明や再発防止に役立てています。
- ⑤ 保護者には名札を配付し、送迎時に着用してもらっています。玄関はオートロックになっており、保育士はモニターで保護者と名札を確認してから玄関を解錠します。連絡以外の保護者が迎えに来た時は、保護者に電話確認し、身分証明書を持参してもらうことになっています。

Ⅱ-3 人権の尊重



- ① 職員は、子どもの気持ちを受け止められるよう配慮し、威圧的な言い回しにならないように気をつけています。子どもの人格を尊重する姿勢について職員会議で話し合っており、園長が気になった言葉かけについては、その場で確認しています。
- ② 子どもが友だちや保育士の視線を意識せずに過ごしたい時は、保育室の机や玩具の位置を変えて居心地の良いスペースを確保します。子どものプライバシーを守り、保育士と1対1で話す必要がある時は、ホールや事務室を利用します。
- ③ 個人情報に関する記録は事務室の施錠できるキャビネットに保管し、園長が管理しています。ホームページや園だよりへの写真掲載については、入園時に保護者に説明したうえで承諾書もらっています。
- ④ 子どもの呼び方は、家庭での呼び方を確認したうえで、〇〇ちゃん・〇〇さんと呼んでいます。順番やグループ分けなどに性別による区別を行わず、性差への先入観を与えないようにしています。保育士は、無意識に性差による固定観念で保育をしていないかを、職員会議や自己評価票で確認しています。

Ⅱ-4 保護者との交流・連携



- ① 保育理念・保育目標・保育方針については、入園時と進級時に配付する重要事項説明書に明記し、毎年保護者に確認後、署名捺印をお願いしています。園だよりや保護者懇談会などで、保育方針が理解されるように説明し、保護者の意見を聴いています。
- ② 送迎時に子どもの様子を確認し、個々の保護者と情報交換しています。2歳児までは園作成の複写式の連絡ノートを使用して、毎日の情報交換をしています。3歳児以上は、必要に応じてノートを使用します。各クラスの担任が、毎日保育室の入り口に、当日の保育の様子を貼り出します。散歩や遊びの様子やちょっとした出来事などが書いてあり、保護者が子どもの園生活を理解するのに役立っています。

- ③ 保護者懇談会と個人面談は年1回行っています。個人面談は希望があればいつでも対応しており、保護者の意向で定期的に面談する場合があります。保護者が他の人に聞かれないで相談したい時は、事務室を利用しています。相談を受けた職員が適切に対応できるように、園長、乳児や幼児のリーダー職員が助言し、会議で他の職員と共有して継続的なフォローができるようにしています。
- ④ 園だより、クラスだより、給食だより、ほけんだよりを毎月配付しています。毎月の各クラスの保育目標や予定、子どもたちの状況、季節に即した話題などを掲載し、保護者への情報提供に努めています。運動会や発表会の行事はプロのカメラマンが写真を撮影し園に掲示しています。
- ⑤ 年度初めに年間行事計画予定表を配付しています。保護者の協力で、バイオリン演奏会や田植え・稲刈り体験を行うことができました。父母会などの保護者組織がないため、保護者の代表と定期的な意見交換をすることはできませんが、保護者の自主的な活動を支援する姿勢はできています。保護者間のコミュニケーションや保護者の自主的な活動に果たす役割が期待されます。

Ⅲ 地域支援機能

Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 園見学者からの相談を中心に、地域のニーズを把握しています。また、園長が、区の園長会、幼保小連絡会、青葉地区ブロック交流会に参加し地域の情報を得ています。
- ② 一時保育は登録制で幼児を中心に受け入れています。その他、園庭開放、交流保育を行い、園の専門性を活かしたサービスの提供に努めています。子育てに関する講習や研究会の開催などの支援も今後に期待されます。

Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 基本的には園見学者に個別に園の情報を提供していますが、行事やお知らせがある時は、玄関のガラスドアの内側から案内を掲示しています。その他、青葉区こども家庭支援課の保育園紹介コーナー展示、青葉区地域子育て支援拠点ラファールのホームページに園の情報を提供しています。
- ② 育児相談については定期的な実施はなく、随時の受け付けとなっています。定期的な相談日を設けての対応が期待されます。
- ③ 青葉区こども家庭支援課をはじめ、地域の関係機関、団体を把握し、バインダーにまとめています。園長を担当者として相談内容に応じて連携を図る体制を整えています。

IV 開かれた運営

IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 園の行事には地域の人に参加することができ、自治会長さんとお祭りに参加する際の打ち合わせを行っています。近隣の4つの保育園で運動会ごっこをする際の打ち合わせ会場になっており、秋には避難場所になっている小学校との交流会が予定されています。地域との友好関係を築くための取り組みへの努力が行われていますが、地域への施設開放や備品貸出は今後の課題となっています。
- ② 子どもたちは、毎日の散歩の際に地域の人たちとあいさつを交わしています。バスや電車に乗って地域の消防署やプラネタリウムに出かけ、日常的に地域との交流を体験しています。自治会のお祭りに参加したり、近隣の保育園と合同で公園で運動会ごっこをしています。近所の高齢者施設に年2回訪問して、園児と高齢者の交流会を行っています。

IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① 法人のホームページで、園の保育サービスの情報提供を行っています。その他、青葉区地域子育て支援拠点のホームページで、園庭開放や一時保育の状況、行事のお知らせをしており、電話などの照会には丁寧に対応しています。パンフレットなどの紙媒体の資料は作成していないため、地域や関係機関への分かりやすい情報提供が課題となっています。
- ② 利用希望者からの問い合わせには園の見学ができることを案内しており、サービス内容の問い合わせにも常時対応できるようになっています。園の見学は金曜日を設定していますが、希望者の都合に合わせて柔軟に対応しています。見学時の説明は口頭で行っていますが、わかりやすく情報を提供するという観点から、資料配付の検討が期待されます。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① 過去に大学生のボランティアを受け入れたことがありますが、現在は希望者がいない状況です。ボランティア受け入れと育成の担当者は園長で、受け入れ時の記録を残しています。ボランティア意見を園の運営に反映させるなどの体制やボランティア育成への取り組みについては課題となっています。
- ② 過去に大学生を受け入れて実習を行い、職員とも意見交換を行いました。「保育士養成実習マニュアル」を整備して、今年度に実習生を受け入れる計画となっています。

V 人材育成・援助技術の向上

V-1 職員の人材育成



- ① 園長は、クラス編成、勤務時間帯、経験年数などを考慮し人材配置を行い、必要な場合は設置法人本部に補充を依頼しています。法人の保育キャリアパスに基づき人材の育成に取り組んでいます。園長との年に2回の面談で職員個々の目標や人事考課表を用いての話し合いや評価を行い、達成度を確認し、次年度につなげています。
- ② 職員それぞれのキャリアごとの研修スケジュール（内部研修）があります。外部の研修案内を知らせ、本人の希望も取り入れ参加をしています。研修受講後は、研修レポート提出のほか、今年度から職員会議で内容を発表していこうとしています。研修受講後は、障害のある子どもとの関わり方など園の保育活動に取り入れるようにしています。
- ③ 非常勤職員は補助的な立場で保育に関わっています。常勤職員同様に園の状況を把握できるよう、会議録は職員休憩室に置き、研修レポートも自由に閲覧できるようにしています。今年度設置法人のコンプライアンス研修は、全職員が受講しています。園長は、非常勤職員と日常的なコミュニケーションの中で、担任とは違う視点からの意見や気づきを聞いています。

V-2 職員の技術の向上



- ① 年間指導計画、月案、月間目標やねらいに基づいた週案があり、反省・評価が出来る書式が定型化されています。見直し後、次の指導計画に反映しています。振り返りから気づいた課題などは、職員会議、昼礼等で話し合っています。自己評価シートに基づいた職員個別の評価・ふりかえりは3ヶ月ごとに行っています。
- ② 職員の自己評価後に保育目標について、保育について、行事についてなど評価できる点や課題等の把握に努めています。園としての自己評価は毎年行い、結果は玄関掲示で公表しています。

V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 設置法人の保育キャリアパス様式に職員の経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明記されています。
- ② 可能な限り現場にいる職員が主体的、自発的に判断して保育にあたるよう権限を委譲し、園長に報告することで最終的な責任を明確にしています。また、クラスリーダー、乳児リーダー、幼児リーダーを置くことでも責任を持って仕事に取り組めるようにしています。
- ③ 園長、乳児、幼児リーダーは園内の雰囲気作りに心がけ、現状の問題や、意見・提案を聞いて業務改善につなげています。
- ④ 園長は年2回、職員との個別面接を実施し、職員の満足度・要望の把握に努めています。また、日々の業務を通じて、職員一人ひとりと言葉を交わし、コミュニケーションを深めるように努めています。

VI 経営管理

VI-1 経営における社会的責任



- ① 職員が守るべき法・規範・服務規程などはコンプライアンスハンドブックに明記されており、入職時に説明をし、ハンドブックを配付しています。園単独の経営、運営状況などの公表はありませんが、設置法人の経営、運営状況はホームページで公表しています。
- ② 他施設での不適切な事例や、新聞やニュース報道などを職員会議、昼礼で取りあげ、話し合っています。
- ③ 青葉区の取り組みもあり、緑化に努めています。廃材の活用、ゴミの減量など環境に配慮して取り組んでいます。今後はそれら取り組みを保護者に周知されることが期待されます。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 企業理念、保育理念、保育方針、保育目標は全職員に配付し、玄関や職員休憩室に掲示をしています。3ヶ月ごとの職員の自己評価においても再確認ができる仕組みを作っています。園長は折にふれ、子どもを中心とした保育の実践について話をしています。
- ② 今年度当初、園行事の一部変更についての説明に伴い、保護者との間に行事についての考え方や捉え方に齟齬が生じていました。臨時の懇談会の開催、議事録（経緯の説明）の配付など理解を求めました。アンケートの「年間の保育や行事についての説明」「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについて」の項目の満足度の低さも踏まえ、今後園側の重要な意思決定がある際には、保護者理解、協力を得られるような説明の工夫や丁寧な説明の継続が期待されます。
- ③ 現在、主任の在籍はなく、園長が積極的に現場に入り、職員の様子を見ながら指導や助言を行っています。乳児、幼児リーダーもその日の業務に応じて職員の配置や保育援助、職員の相談に乗り、園長に様子を報告したりしています。それらを考慮して園長が勤務シフトを作成しています。

VI-3 効率的な運営



- ① 事業所運営に影響のある情報の収集分析は設置法人で行っています。園長は、設置法人の施設長会議やブロック会議のほか、青葉区の園長会や幼保小連絡会などの会合に出席し、情報収集をしています。園に関わる事項は、職員会議で周知しています。
- ② 運営に関する中長期計画の策定は設置法人が行っています。単年度の事業計画は設置法人の事業計画の書式に基づいて園長が作成をしています。園の進む方向を明確にするため、設置法人の計画に沿いながら、園としての中長期的な視野に立った計画の策定が期待されます。

利用者本人調査

調査対象

園全体の在籍数：

0歳児クラス：6名

1歳児クラス：10名

2歳児クラス：10名

3歳児クラス：9名

4歳児クラス：7名

5歳児クラス：9名

調査概要

《0歳児クラス》

(遊び)

畳のスペースにおもちゃを広げています。保育士手作りの「ぽつとん落とし」おもちゃにブロックを落としたり、空き箱におもちゃを入れて、箱をひっくり返すことを繰り返し、壁を使って伝い歩きするなど、子どもたちは保育士に見守られながら遊んでいます。

抱っこをしてもらいたくて手を広げた子どもを保育士は優しく抱き上げます。体調を考慮して散歩を控えた1歳児クラスの子どもも、一緒に遊んでいます。

(食事)

自分で食べようと頑張りますが、なかなか口に入らない子どもは保育士に手を添えてもらっています。月齢が低い子どもはほぼ保育士に食べさせてもらっています。

献立(訪問1日目)で好き嫌いはないようで、みんな食欲旺盛です。パンが主食の時(訪問時)は、自分で持ちやすいようにスティック状で提供しています。午前寝をしなかった子どもは、ごちそうさまの後すぐに眠ってしまいます。

(午睡)

カーテンは全部引かず、程よい明るさを保った環境を作っています。BGMで静かなオルゴールの音色の曲をかけています。子どもたちは保育士におでこや頭を撫でてもらったり、体をやさしくさすってもらったり、トントンしてもらいながら眠りに入っています。

《1 歳児クラス》

(散歩)

バギーに乗ってお散歩に出発します。目的地の藤が丘公園までの道すがら、車、店先の犬の置物、プランターの花々など、保育士は指さし、子どもたちの興味を誘う言葉かけをしています。「花、何色かな?」「アカ」「チロ(白)」「ム、ラ、サ、キ(回らない口で)」子どもたちはバギーから指をさします。

通りすがりの地域の人には保育士から積極的に「こんにちは」と挨拶をしています。「こんにちは」と優しい笑顔で子どもたちに返事を返してくれます。公園に着くと子どもたちが大好きな電車が良く見える場所で待機します。程なくアニメのキャラクターデザインの青い電車が通ると子どもたちは「わ〜!」「あお〜」と大はしゃぎです。電車は何台も行き交います。子どもたちはそのたびに一所懸命に手を振ります。「あっ、〇〇ちゃんのお好きな回送電車だよ」と保育士が声をかけます。子どもは熱心に見つめています。

(読み聞かせ)

食事の準備が整うまで、絵本の読み聞かせをしています。乗り物好きな子どもが多いので、電車(2冊)、自転車、消防車の絵本を選んでいきます。お気に入りの場面では「あー」と指をさしたり、食い入るように絵本を見つめたり、子どもたちは集中しています。

(食事)

スプーンとフォークを提供し、自分の好きなほうを選べるようにしています。スプーンで口いっぱい頬張り、手で押し込んでいる子どもがいます。「〇〇くん、大丈夫?」と保育士が声をかけます。お皿を片手に持って器用に食べている子どももいます。

食事の援助が必要な子どもの傍らに保育士が座りながら「お待たせしました」「では、あらためて、いただきます」のあいさつの後、子どもの嚙下の様子を見ながら援助をしています。

(排泄)

トイレで紙パンツを替えてもらおうと、出口で待機している別の保育士は子どもが自分でズボンを穿くのを見守っています。穿けたと満足そうに立ち上がり、歩き出す子どものお尻部分で丸まっているズボンをさり気なく上げてあげています。

《2 歳児クラス》

(遊び)

保育士がお手本を見せながらお絵かきをしています。ほとんどの子どもはなぐり書きの様子です。「せんせい、かいて〜」と甘える子どもがいます。顔が描けた子どもに「じょうず!」と褒めています。子どもは少し得意気な表情です。

その後、散歩に出かけましたが、雨が少し降ってきたので、急遽取りやめとなりました。保育室でCDの曲に合わせて体を動かします。保育士の振りを見て子どもたちもリズムをとります。隣の1歳児クラスの子どもたちも曲を聴いて楽しそうにご機嫌な様子で踊っています。曲が終わると、一人の子どもが保育士のそばに行き「アンパンマンのあーん、あん」と次を催促します。「じゃ、次はアンパンマン音頭にしようね」とリクエストに応えます。子どもたちはますます盛り上がります。

次は、ホールで、サーキット遊びです。平均台渡り、トンネルくぐり、柱のシンボルツリーを回り、紐を跳んでゴールします。みんな順番が来るまでちゃんと待っています。

(食事)

給食のうたをみんなで歌い、「いただきます」をします。「せんせい。おちやないよ〜」「あら、失礼いたしました」お茶を入れ「お客様、お待たせいたしました。どうぞ」「はい」と子どもたちと保育士のたのしいやりとりがあります。

デザートも一緒に提供しますが、子どもたちはデザートを先に食べることはなく、ちゃんと主食や副菜から食べています。「〇〇ちゃんはね、いっぱいたべておかあさんよりおおきくなるんだ」「ぜんぶたべたらね、ママにいうの」と保育士に話しています。苦手な食材がある子どもには「うどん食べたら、ジャガイモいけそう?」「1だけ（一口だけの意味）頑張れるかな?」など保育士は優しく促しています。イヤイヤをしていた子どもも、最後は一口「ぱくり」としています。

(排泄)

活動の合間にトイレに行きます。布パンツ、トレーニングパンツ、紙パンツとそれぞれです。

(午睡)

自分の布団に横になります。すぐに眠そうになる子ども、まだ元気で少し興奮気味の子どももいます。保育士に体をさすってもらったり、トントンしてもらいながら少しずつ眠りに入っていきます。

《2～5 歳児クラス：合同》

(交通安全教室)

2～5 歳児クラスがホールに集合し、指導員の話に耳を傾けます。「命は一つしかないんだよ。自分で自分の命を守っていかないとイケません。」「はい」と子どもたちは元気に答えます。アライグマのまもる君（指導員が演じるハンドパペット）の知らない事や失敗したことに「そうじゃないよ」「手をあげるんだよ」など子どもたちが教えてあげています。

《3 歳児クラス》

(午前遊び)

近くの公園にお散歩に行く支度をします。紫色の帽子を被り、自分で靴を履いて二人ずつ手をつなぎ整列しました。保育士の「列をくずさないようにお友だちの頭を見て歩きましょう」の言葉で出発しました。公園に着いたとたん小雨が降ってきました。保育士の「帰ろうか」の声に、子どもたちは「いやだ」とつぶやいたり、黙り込んでいましたが、「ヨーイドン!」をやってから帰ることになりました。保育士のかげ声でみんなで走り出し、先にゴールした子は、遅い子に「ガンバレ」と声をかけて応援し、最後の子がゴールした時にはみんな笑顔で拍手しました。短い時間でしたが楽しく過ごしました。

保育園に帰った後は、着替えをしてから順番にうがいとトイレを済ませ、水分補給のお茶を飲んで、お絵かきの時間になりました。子どもたちはクレヨンを出して画用紙が配られるのを待ちます。保育士は、おまつりごっこのお話をして、子どもたちのイメージを広げながら、クレヨンの持ち方や描きやすい姿勢を教えていました。

その後の自由遊びでは、絵本、お人形、ジグソーパズル、ブロック、おままごとの野菜や果物など、好きなおもちゃを使って遊びに集中している子どもたちの姿が見られました。11時45分に保育士が「長い針が9になったので片づけましょう」と話すと、子どもたちは使っていたおもちゃを片付け、当番の子は給食の準備を始めました。人形用のベッドに、遊んでいたお人形を大切にそうに寝かしてカバーをかけている子がいました。

(食事)

調理室から給食が運ばれると、色違いの食器とトレイに配膳された除去食材のある子どもの食事を一番最初に配ります。当番の子が前に立ち、保育士に援助してもらいながら献立を発表します。給食の歌を歌ってから、みんなで「いただきます」をします。

テーブル毎に仲良くお話ししながら食べていましたが、お喋りに夢中になってしまう子もいて、保育士は様子を見ながらやさしく声かけをしていました。お喋りしていた子も、みんながデザートを食べ始めると、残っていたパンを一生懸命食べていました。食べ終わった子から「ごちそうさまでした」をして歯磨きを始めましたが、食べるのが遅い子も慌てることなく、しっかりデザートまで食べていました。

《4・5歳児クラス》

(楽器遊び・散歩)

10時過ぎからは、ホールで4歳児と5歳児合同で楽器遊びをしました。木琴・鉄琴・キーボード・ピアノ・カスタネット・トライアングル・マラカスなど、たくさんの楽器についての説明を聞いた後、子どもたちはそれぞれに興味のある楽器を手にとって音を出していました。5歳児が4歳児に教えている場面も見られました。保育士にマラカスの使い方を教えてもらう子や、楽譜を見て鍵盤を弾いている子もいました。それぞれに熱心に楽器の音を楽しんでいました。

雨が上がったので、4、5歳児で公園行くことになりましたが、歩き出したとたんに、また小雨が降り出したので、保育園の周りを一周してから戻ることになりました。子どもたちは残念そうでしたが、通り過ぎるトラックを見て話をしながら短い散歩を楽しんでいました。保育士は安全に気を配りながら子どもたちに声をかけ、子どもたちは交通ルールを守って歩きました。

園に戻って着替えをした後、給食までの時間はそれぞれの保育室で制作遊びをしました。

《4 歳児クラス》

(朝の会の後)

朝の会の後の絵本の読み聞かせの時間が終わるところでした。保育士から次の楽器遊びの説明を聞いた後、子どもたちはお茶を飲んで順番にトイレに行きました。早く終わった子は絵本を取り出して読んでいました。

(午前遊び・楽器遊びと散歩の後)

5 歳児と合同の楽器遊びと散歩の後は給食までの時間は 4 歳児クラスはかざぐるま作りです。正方形の紙に色を塗り、保育士のやり方を見ながらハサミやストローを使っているうちに完成です。子どもたちは保育士の説明を熱心に聞きながら、器用にハサミを使って切り込みを入れていました。沢山の色を塗ったかざぐるまは回るときれいで、子どもたちは、上手に回すために息の吹きかけ方を工夫して楽しんでいました。出来上がった作品は家に持って帰ることになりました。

《5 歳児クラス》

(朝の会の後)

5 歳児クラスは朝のあいさつの後、当番の子が出席ノートを配り、みんなで出席シールを貼ってから回収します。子どもたちはノートの向きを揃えて当番の子に渡すなどの心遣いをしていました。絵本の読み聞かせの時間は「ともだちほしいなおおかみくん」でしたが、子どもたちはみんな集中して前を見て聴いていました。保育士が子どもに感想を尋ねると「おおかみがやさしかった」という言葉から会話を広がっていました。

(午前遊び・楽器遊びと散歩の後)

園に戻って着替えをした後、給食までの時間は折り紙をしました。最初は茶色の折り紙でセミを折ります。子どもたちは保育士の手元を見ながら、熱心に折っていましたが、難しいところは得意な子が他の子の手助けをしていました。完成した後は折り紙の作品を見ながら、友だちや保育士とのお話が広がっていました。棚から絵本出して熱心に見ている子もいました。

(食事)

当番の子が前に立って今日の献立を発表します。配膳された食事をみんなで確認してから、給食の歌を歌い、「いただきます」の挨拶をして楽しく給食の時間が始まりました。子ども同士で「デザートは最後に食べるんだよ」と確認しています。コーンの好きな子がうどんに入っているコーンの数を数えていました。

給食を食べながらみんなでお喋りをしていましたが、田植えをした話が始めると、秋の収穫のことになり、家族で遊びに行ったことなど、いろいろな話題に会話が広がっていきます。子どもたちはゆったりと食事を楽しんでいるようでした。保育士は子どもたちと会話しながら、一人一人の様子を確認していました。

家族アンケート結果

アンケートの概要

1. 調査対象

利用者の全家族

2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

3. アンケート発送数等

| | | | | | |
|------|----------|------|------|------|-----|
| 発送数： | 50 通 | 返送数： | 30 通 | 回収率： | 60% |
| クラス： | 0歳児： 5 通 | 1歳児： | 7 通 | 2歳児： | 9 通 |
| | 3歳児： 3 通 | 4歳児： | 3 通 | 5歳児： | 3 通 |

4. 全体をとおして

利用者家族へのアンケート回収率は60%になりました。

アンケートに回答した家族は、「保育園を総合的に評価した満足度」では「満足」が30%であり、「どちらかといえば満足」も含めると83%が満足しております。

個別の内容別では、「満足」の高い項目として「給食の献立内容」について「満足」83%であり、「お子さんは給食を楽しんでいるか」も80%と満足している状況です。他には「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されている」「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」について、「満足」が多くなっています。

その一方で、「年間の保育や行事に保護者の要望は生かされているか」については、「満足」が13%に留まり、「不満」は30%になっています。「年間の保育や行事についての説明」についても、「満足」が27%ですが「不満」30%となっています。

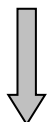
施設への要望などの自由記入欄には、「行事やイベントが少なくなった」「行事が少ない分代わりに作品を作ってほしい」「行事などにアンケートや説明などがなく不信感につながった」などの意見があります。

アンケート結果

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

| | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 どちらともいえない | 4 あまり知らない |
| 2 まあ知っている | | 5 まったく知らない |



| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|-------|-------|-------|------|------|------|
| 16.7% | 46.7% | 26.7% | 6.7% | 0.0% | 3.3% |

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

| | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1 賛同できる | 3 どちらともいえない | 4 あまり賛同できない |
| 2 まあ賛同できる | | 5 賛同できない |

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|-------|-------|------|------|------|------|
| 57.9% | 31.6% | 0.0% | 5.3% | 5.3% | 0.0% |

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--|-------|------------|------------|------|-------|------|
| 見学の受け入れについては | 50.0% | 30.0% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 0.0% |
| その他: 見学していない、上の子がいたので見学していない | | | | | | |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 33.3% | 43.3% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 3.3% |
| その他: 行ってない、求めている | | | | | | |
| 園の目標や方針についての説明には | 36.7% | 43.3% | 13.3% | 0.0% | 6.7% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |
| お子さんの生育歴などを聞く対応には | 36.7% | 53.3% | 0.0% | 3.3% | 6.7% | 0.0% |
| その他: 面接していない、面接はなかった | | | | | | |
| 保育園での一日の過ごし方についての説明は | 53.3% | 40.0% | 3.3% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| その他: どちらともいえない | | | | | | |
| 入園後に食い違いがなかったかなどもも含め、費用やきまりに関する説明については | 40.0% | 40.0% | 13.3% | 6.7% | 0.0% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |

問3 保育園に関する年間の計画について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--------------------------------|-----------|------------|------------|-------|------|------|
| 年間の保育や行事についての説明には | 26.7% | 23.3% | 20.0% | 30.0% | 0.0% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 13.3% | 26.7% | 26.7% | 30.0% | 3.3% | 0.0% |
| | その他:わからない | | | | | |

問4 日常の保育内容について

| 「遊び」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--|-------------------|------------|------------|------|------|------|
| クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど) | 46.7% | 53.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては | 43.3% | 33.3% | 13.3% | 3.3% | 6.7% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 50.0% | 46.7% | 3.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については | 40.0% | 40.0% | 13.3% | 0.0% | 6.7% | 0.0% |
| | その他:不満ではないが満足でもない | | | | | |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては | 43.3% | 53.3% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| | その他:わからない | | | | | |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 43.3% | 43.3% | 10.0% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| | その他:わからない | | | | | |

| 「生活」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|---------------------|------------|------------|------|-------|------|
| 給食の献立内容については | 83.3% | 13.3% | 3.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 80.0% | 16.7% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| 基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては | 70.0% | 30.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | その他:わからない | | | | | |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては | 70.0% | 20.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 56.7% | 26.7% | 6.7% | 0.0% | 10.0% | 0.0% |
| | その他:まだ行っていないのでわからない | | | | | |
| お子さんの体調への気配りについては | 66.7% | 33.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | その他: | | | | | |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には | 60.0% | 30.0% | 0.0% | 0.0% | 10.0% | 0.0% |
| | その他:まだケガをしていないので不明、 | | | | | |

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|-------------------------------|-------|------------|------------|------|------|------|
| 施設設備については | 36.7% | 56.7% | 3.3% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| その他:どちらももいない | | | | | | |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 56.7% | 40.0% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| その他:どちらももいない | | | | | | |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については | 33.3% | 46.7% | 16.7% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 43.3% | 36.7% | 13.3% | 6.7% | 0.0% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |

問6 園と保護者との連携・交流について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|-------|------------|------------|-------|-------|------|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 26.7% | 56.7% | 16.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |
| 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については | 33.3% | 46.7% | 10.0% | 0.0% | 3.3% | 6.7% |
| その他:もう少し内容を増やしてほしい | | | | | | |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 26.7% | 43.3% | 13.3% | 13.3% | 0.0% | 3.3% |
| その他: | | | | | | |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については | 36.7% | 33.3% | 23.3% | 6.7% | 0.0% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 30.0% | 50.0% | 16.7% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| その他:わからない | | | | | | |
| 保護者からの相談事への対応には | 40.0% | 50.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 50.0% | 36.7% | 3.3% | 0.0% | 10.0% | 0.0% |
| その他:わからない | | | | | | |

問7 職員の対応について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------------|-------|------------|------------|-------|-------|------|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 63.3% | 36.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては | 70.0% | 26.7% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 50.0% | 26.7% | 0.0% | 0.0% | 16.7% | 6.7% |
| その他:わからない、該当しない、ないので不明 | | | | | | |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては | 43.3% | 50.0% | 0.0% | 3.3% | 3.3% | 0.0% |
| その他:わからない | | | | | | |
| 意見や要望への対応については | 33.3% | 33.3% | 13.3% | 10.0% | 10.0% | 0.0% |
| その他: | | | | | | |

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | 無回答 |
|--------|-------|------------|------------|------|------|
| 総合満足度は | 30.0% | 53.3% | 10.0% | 0.0% | 6.7% |

事業者コメント

事業者名：グローバルキッズ 藤が丘園

保育園が開園されて五年の月日が経ちました。

時の流れにより現在ますます保育の質について問われる時代となり、来年は保育所保育指針が改定されます。また学校の学習指導要領も今後変わってきます。そうした変化に合わせて藤が丘園では子どもたちが主体的に学び、自主的にも行動できる環境作りを職員とともに意識し、その質を更に上げていきたいと考えております。受動的でなく能動的な保育へ。そして非認知的能力が身に付きやすい環境へと展開できるように私たちは努めてまいります。

今後に取り組む課題としては地域との関係をより深め、災害時等で互いに協力できる施設へ向けて、開かれた園になるように努力してまいりたいと存じます。

保護者の皆様には調査アンケートへご協力していただきまして、心から感謝申し上げます。皆様から頂いたご意見は、今後の園運営に活かしていけたらと思っております。

最後に、第三者評価をして下さった「株式会社フィールズ」の皆様より、客観的にみていただいたことで、藤が丘園の良い点や改善点など冷静に判断し、次へ繋ぐ新たな道へと発見がございました。大変貴重な時間をいただき、またご協力賜りましたことへ厚く御礼申し上げます。

園長 時田 礼美



株式会社フィールズ

〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル3F

TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323